

令和3年度

事業実績報告

社会福祉法人 信濃川令終会

目 次

第1 施設の概要	1
----------	---

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡 南 の 郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷	5
② ショートステイ岡南	11
③ デイサービスセンター岡南	14
④ グループホームこうなん	18
⑤ 居宅介護支援事業所岡南	21
⑥ ケアハウス岡南	23

(2) せ っ た や の 郷

① デイサービスセンターせったや	27
② グループホームせったや	30

(3) 看護室

看護室	32
-----	----

第3 苦情受付状況	33
-----------	----

第4 研修の状況	35
----------	----

第1 施設の概要

1 経営主体

名 称	社会福祉法人 信濃川令終会
所 在 地	新潟県長岡市渡沢町字早田53番地
理 事 長	小野澤 豊
認可年月日	平成12年7月25日

2 施設の名称等

(1) 岡南の郷

施 設 の 名 称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
特別養護老人ホーム岡南の郷	介護老人福祉施設	82名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200897
ショートステイ岡南	短期入所生活介護	11名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200905
デイサービスセンター岡南	通所介護	29名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200889
グループホームこうなん	認知症対応型共同生活介護	18名	平成14年6月1日	令和2年6月1日	1570201077
共用型デイサービスこうなん	共用型認知症対応型通所介護	6名	平成30年8月1日	平成30年8月1日	1570201077
居宅介護支援事業所岡南	居宅介護支援		平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200863
ケアハウス岡南	軽費老人ホーム ケアハウス	15名	平成13年4月9日		

(2) せったやの郷

施 設 の 名 称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
デイサービスセンターせったや	通所介護	25名	平成21年4月1日	令和3年4月1日	1570202810
グループホームせったや	認知症対応型共同生活介護	9名	平成21年4月1日	令和3年4月1日	1590200224
共用型デイサービスせったや	共用型認知症対応型通所介護	3名	平成30年8月1日	平成30年8月1日	1590200224

3 施設規模

(1) 敷地面積

- | | |
|----------|--------------------------|
| ① 岡南の郷 | 12,770.13 m ² |
| ② せったやの郷 | 1,372.22 m ² |

(2) 建物面積

- | | | |
|----------------------------------|------|-------------------------|
| ① 特別養護老人ホーム岡南の郷(ケアハウス、デイサービス等含む) | | |
| 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 | 延べ面積 | 6,446.24 m ² |
| ② グループホームこうなん(2ユニット) | | |
| 1 木造2階建 | 延べ面積 | 358.73 m ² |
| 2 木造2階建 | 延べ面積 | 372.43 m ² |
| ③ せったやの郷(デイサービス、グループホーム) | | |
| 鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建 | 延べ面積 | 711.26 m ² |

4 設備内容

(1) 岡南の郷

施 設 名		居 室	設 備
特別養護老人ホーム		個 室 46 4人部屋 9	サービスステーション、事務室、相談室、洗濯室、宿直室、調理室、食堂、特別浴室、静養室、医務室、機能訓練室
ショートステイ		個 室 7 4人部屋 1	
デイサービスセンター			事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム (2ユニット)	1	個 室 9	居間、食堂、台所、浴室
	2	個 室 9	居間、食堂、台所、浴室
ケアハウス		個 室 15	事務室、食堂、一般浴室、相談室、洗濯室、図書コーナー、レストコーナー

(2) せったやの郷

施 設 名	居 室	設 備
デイサービスセンター		事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム	個 室 9	居間、食堂、台所、浴室

5 協力病院

新潟厚生連 長岡中央総合病院
医療法人誠心会 吉田病院

6 嘱託医

田中 直行
江部 佑輔

7 職員数

令和4年3月31日 現在

事業所名		事務長 施設長	副事務長 副施設長	管理者	生活相談員		看護職員 保健師			機能訓練指導員			介護職員			介護支援専門員 計画作成担当者	事務員 栄養士			その他		計
		正	正	正	正	臨時	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	正	臨時	パート	臨時	パート	
法人本部		2	(兼1)														5			2	15	24
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷 ショートステイ岡南	1	1 (兼1)	(兼1)	2 (兼1)		3		1	1		1	37 (兼1)		6	2 (兼1)						55
	デイサービスセンター岡南	1		1	1 (兼5)				5	1		(兼5)	7 (兼3)	2			(兼1)				4	22
	グループホームこうなん	(兼1)	1	1				(兼1)					10 (兼2)	1	2	(兼2)	(兼1)				1	16
	居宅介護支援事業所岡南			1												4 (兼1)						5
	ケアハウス岡南	(兼1)	1		(兼1)			1							1		1					4
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	1		(兼1)	1 (兼2)		2		4	(兼2)		(兼4)	5 (兼2)	2	5		(兼1)				4 (兼1)	24
	グループホームせったや			1				(兼1)					5 (兼1)		1	(兼1)	(兼1)					7
計		5	3	4	4	0	5	1	10	2	0	1	64	5	15	6	6	0	0	2	24	157

正職員	99
臨時職員	8
パート職員	50
計	157

8. 職員採用退職状況

令和4年3月31日 現在

[illegible]

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡南の郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷

1 利用状況

(1) 月別入退所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入所	男	2	1	2	0	0	2	2	1	1	0	2	0	13	1.08
	女	2	3	3	2	4	0	3	1	2	2	2	0	24	2.00
退所	男	2	1	2	1	0	1	1	0	1	3	1	0	13	1.08
	女	4	1	4	2	2	3	3	1	2	2	0	0	24	2.00
月末入所者数		80	82	81	80	82	80	81	82	82	79	82	82	973	81.08

(2) 介護度別入所者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R4.3.31	0	0	4	33	45	82	4.50
%	0.0%	0.0%	4.9%	40.2%	54.9%		
R3.3.31	0	0	6	36	40	82	4.41
R2.3.31	0	0	9	30	42	81	4.40

(3) 年齢別入所者

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R3.3.31	0	1	5	6	12	28	30	82	87.2 歳
%	0.0%	1.2%	6.1%	7.3%	14.6%	34.1%	36.6%		
R3.3.31	0	2	9	6	11	23	31	82	86.8 歳
R2.3.31	0	2	9	3	14	19	34	81	86.7 歳

2 重点施策

特養共通

(1) 介護報酬改定に対応した新たな加算の算定

家族が面会自粛等で入所者の状態を把握しにくい状況であったが、多職種が連携し、各々の立場から利用者の情報伝達や面会の依頼を重ねることで、状態低下の早い段階から状況の理解を深めることができた。その結果、看取り介護への移行が円滑となり、看取り介護加算算定者22件中、新区分は12件173回算定できた。また、看取り介護パンフレットを作成し入所時や状態説明時に用いることで、看取り介護への理解が深まったことも早期移行が可能となった要因と考えられる。

その他の新たな加算は、L I F E への情報提供とフィードバックの活用が算定要件となっているため、昨年度から準備と体制構築を進め、4月から算定を開始できた。

(2) 平均入所率向上と平均空床期間の短縮

平均入所率は目標値95.0%以上に対して96.8%と目標を達成できた。また、平均空床期間は目標値12.0日に対して10.9日と、昨年度達成できなかった目標をクリアできた。年末年始に退所者が集中して数値を伸ばせなかったが、入所に向けた事前調査や入所内定の動きは定着してきた。次年度は平均空床期間の目標値を上げ、10.0日以内を目指す。

(3) 業務の効率化とICT活用の推進

特養全床への眠りスキャン設置に向けて職員間で活用方法等の情報共有を行い、設置完了からスムーズに活用できるように準備を進めた。また、眠りスキャンで得られたデータを用いて入所者の活動量等を把握し、ケア方法の検討を行った。更なる活用に向けて排尿検知機器パルスを導入し、睡眠と排泄状況をケアに結び付け、入所者の睡眠の質を向上させる取り組みを行っている。

(4) 新入職員の指導・育成方法の確立

新入職員2名に対してプリセプター制度を導入し、指導・育成に当たった。O J Tだけでなく、日々の業務終了後の振り返りや定期的な指導者・上長との面談等O f f ー J Tを充実させることで、新入職員や指導者をバックアップする体制を整え、チームとして人材育成に取り組んだ。今後は介護プロフェッショナルキャリア段位制度のアセッサー資格を取得した副管理者が中心となって、指導の内容や方法について見直しを行っていく。

(5) 外部研修への参加

職員の個別ニーズや事業所として必要な研修内容を精査し、22件延べ33名の職員が外部研修に参加、感染症流行により1件の研修が中止となった。これまでW e b研修を中心に開催されていたが、感染症対策にも配慮しながら徐々に集合研修も開催されてきており、更に積極的な外部研修への参加を勧めていく。

(6) 感染症対策の徹底と面会の実施

新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るう中、標準予防策の徹底と法人の行動指針を遵守し、施設内での感染は確認されなかった。また、嘱託医からの助言により、ユニット間のフィルムシート設置や食席のパーテーション設置等の対策も講じて感染症対策の徹底を図った。

入所者と家族等の面会は、流行状況に応じて嘱託医と相談しながら、オンライン面会から窓越しでの対面へと緩和し、一時的ではあったがワクチン接種済等の条件付きで施設内での面会も行った。今後も感染症の流行状況を踏まえた面会の対応を実施していく。

コロナ禍が続くことを想定し、随時の電話連絡以外の日常の様子の発信方法を検討し、準備を進めた。次年度はS N Sを立ち上げて積極的に情報を発信していく。

(7) 安全対策

① 事故・ヒヤリハット件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故報告	17	13	21	21	15	16	24	12	20	15	21	10	205
ヒヤリハット	42	39	31	31	11	10	8	9	19	14	12	14	240
計	59	52	52	52	26	26	32	21	39	29	33	24	445

② 事故内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	5	7	7	14	9	10	19	9	12	7	13	8	120
誤嚥・異食(誤飲)	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	6
誤薬・内服漏れ	3	1	10	1	1	0	1	1	1	1	3	1	24
経管栄養(抜去含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(痣の発見、深爪)	8	4	4	6	5	6	4	1	6	5	5	1	55
計	17	13	21	21	15	16	24	12	20	15	21	10	205

(8) フロア別

① 特養2階

業務内容の見直しを行い、捻出した時間を個人業務に充てられるように体制を整えた。一人当たり平均で0.5時間の時間外勤務を削減でき、個人業務の負担軽減に結び付いた。PDCAサイクルに基づいて業務の見直しを継続し、更なる時間外勤務の削減を目指す。

入所者の心身の活性化・安定化に向けて共有の整容道具を廃止し、居室等の手取りやすいところに個々の整容道具を設置することで、整容に対する職員の意識・入所者の意欲向上に繋がった。また、居室清掃は管理表を用いて定期的に清掃する習慣を付けた。居室がきれいになることで写真等の掲示やレイアウトの工夫が生まれ、入所者の『らしさ』が見える居室環境が作られるようになった。体操やレク等の日課作りは、新型コロナウイルス感染症対策により集団での活動が制限され、思うようにはできなかった。感染症の流行状況によるが、少人数や個別での活動も検討していきたい。

ミニミーティングを導入するにあたり、日々の業務の中での気付きや課題をすぐに書き留められるようにし、意見を出しやすい工夫を行った。また、あらかじめ議題が明確になることでミーティングでの意見交換や情報収集が活発となり、入所者の変化に対する気付きとそれに即応できる対応力向上に繋がった。今後もミニミーティングを中心に入所者・職員の処遇改善に取り組む。

月	行事名	行事内容
4月	花見	少人数で越路河川公園へ外出し、おやつを食べながら観桜した。
5月	野菜と花の苗植え	プランターに枝豆と朝顔を植えた。
6月	おやつ作り	フルーツサンド作りを行い、おやつの喫食で楽しんだ。
7月	七夕	七夕の飾り付けや記念撮影、おやつ作りを行い、季節感を味わった。
	おやつ作り	ムースやゼリーをデコレーションし、おやつの喫食で楽しんだ。
8月	夏祭り	神輿の興行や屋台風レクリエーション、スイカ割りを行い、楽しんだ。
9月	敬老会	各フロアでの表彰式と祝宴を行い、敬老の日を祝った。
10月	ハロウィンパーティー	ハロウィンにちなんだ仮装撮影や飾りつけを行い、季節を感じた。
11月	文化祭	作品展への出展や作品鑑賞、ケーキバイキングの提供等を楽しんだ。
	おやつ作り	ホットケーキを焼き、フルーツ等でデコレーションしてもらい、出来立ての香りと味を楽しんだ。
12月	クリスマス・忘年会	祝膳やケーキを喫食し、年末の季節感を味わった。
1月	新年会	獅子舞披露、祝膳や季節の和菓子の喫食を通して新年を祝った。
2月	節分会	恵方巻に見立てたロールケーキを喫食し、邪気を払って健康を願った。
3月	ひな祭り	甘酒や茶菓子等を喫食して、ひな祭りを祝った。

新型コロナウイルス感染症の影響により大規模な外出行事は見送ったが、少人数での外出や敷地内での散歩等を随時実施した。

② 特養3階

新型コロナウイルス感染症による自粛生活が続く入所者のストレス軽減や施設内での楽しみ作りを目的に、毎月希望を募って昼食やデザートへのテイクアウトを実施した。その他、定例行事以外にもおやつ作りや入浴レク等を企画し、日常生活の中に楽しみを持てるような工夫を行い、好評を得ることができた。その他、長岡市内の流行状況を勘案し、嘱託医の助言を得ながら、少人数での外出も行った。外出先も入所者の希望や家族等の了承を確認し、自宅付近へドライブをしたり公園でゆっくりと散歩をしたりと目的を持って外出し、気分転換に繋がった。しばらくは現在の生活様式が続くことが予想されるため、現状の取り組みを活かして入所者個々へ様々な楽しみを提供できるよう工夫していきたい。

業務内容と勤務時間を照らし合わせて勤務時間を一部変更したところ、業務効率が上がり、間接業務による時間外勤務の削減や余暇活動の充実へと時間を還元できた。今後も業務改善や効率向上への取り組みを継続し、職員・入所者への処遇改善へと結び付けていく。

感染症対策としての自粛生活が続き、ストレスが溜まりやすい状況の中でも職員の理解と協力により、新型コロナウイルス感染症の罹患者を出すことなく経過した。ストレス軽減や気分転換が図れるように有給休暇が取得しやすい環境作りを行い、平均取得日数を10.7日から11.8日へと増やすことができた。今後も積極的に取得しやすい環境・風土を作り、働きやすい職場作りを推進していく。

月	行事名	行事内容
4月	花見	中庭で花見を行い、季節のお菓子を提供して春の訪れを感じた。
	クレープ販売	クレープの移動販売を招き、焼き立てを購入して喫食した。
5月	お楽しみ会	歌声広場やおやつ会を通して視覚や聴覚への刺激入れと入所者同士の交流を図った。
	お菓子作り	誕生日ケーキを作り、お祝いした。
6月	おやつ作り	フレンチトーストを作り、焼き立てを喫食した。
7月	七夕	七夕の飾り付けや記念撮影、おやつに七夕アイスを提供し、季節感を味わった。
	おやつ作り	フルーチェを作り、おやつに喫食した。
8月	スイカ割り	スイカ割りを楽しみ、おやつに喫食した。
	夏祭り	神輿の興行、ビンゴゲームを行い、楽しんだ。
9月	敬老会	各フロアでの表彰式と祝宴を行い、敬老の日を祝った。
	おやつ作り	お好み焼きを作り、出来立ての香りと味を楽しんだ。
10月	昼食作り	ピザやサラダ等を作り、出来立てを昼食に喫食した。
	おやつ会&音楽祭	おやつを喫食した後、職員の伴奏に合わせて歌って楽しんだ
11月	文化祭	作品展への出展や作品鑑賞、ケーキバイキングの提供等を楽しんだ。
	スイーツビュッフェ	食事形態に関係なく提供できる洋菓子を用意し、好みのものを選んで喫食した。
12月	クリスマス・忘年会	クリスマスソングを歌ったり、ケーキを食べたりして季節を感じた。
1月	新年会	絵馬作成、獅子舞披露、祝宴で新年を祝った。
2月	節分会	豆まきを行い、邪気を払って健康を願った。
3月	ひな祭り	甘酒やケーキを喫食して、ひな祭りを祝った。

新型コロナウイルス感染症の影響により大規模な外出行事は見送ったが、少人数での自宅周辺や公園への外出、昼食やおよつのテイクアウト、入浴レク等、日常生活の中でも楽しみを持てるような工夫を行った。

3 給食の状況

(1) 栄養量(1日当たり)

区分	エネルギー(Kcal)	タンパク質(g)	カルシウム(mg)	脂 質(g)
本施設の 基準提供栄養量	1,300	57	600	30
	1,500	66	600	35
	1,700	70	600	45

※3種類の栄養量の食事を用意し、入所者の身体状況に合わせた食事を提供している

(2) 療養食

項 目	腎臓食	糖尿食	脾臓食	潰瘍食	心臓病食
人 数	0	2	0	0	7

※複数の療養食に該当する場合あり

(3) 行事食状況

年月日	行事名	食事内容
5月5日	端午の節句	ふきご飯、鯖の南蛮漬け、若竹煮、白和え、いちご
7月7日	七夕	七夕そうめん、かき揚げ、レモン醤油和え、フルーツあんみつ
8月20日	納涼祭	焼きそば、たこ焼き、フライドポテト、夏野菜のおでん、チョコバナナ
9月20日	敬老会	醤油赤飯、松茸すまし汁、刺身、蓮根はさみ揚げ、ポン酢ジュレのサラダ、さつま芋プリン
12月21日	忘年会	蟹ちらし、湯葉入りすまし汁、刺身、里芋そぼろ煮、酢味噌和え、スイートポテト
12月31日	年越し	鯛めし、そば入りすまし汁、新巻鮭、天ぷら、もやしと桜エビのさっと煮
1月1日	元旦	ちらし寿司、筑前煮、元旦口取、卵豆腐
1月12日	新年会	握り寿司、蓮根すり流し汁、天ぷら、お浸し、いちごのミルクがけ
2月3日	節分	いなり寿司、いわしのつみれ汁、大豆とひじきのサラダ、節分ロールケーキ
3月3日	ひなまつり	ちらし寿司、はまぐり潮汁、春鰹のたたき、ぜんまいの煮物、ひな祭り三色花ゼリー

② ショートステイ岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和3年度	437	465	432	457	431	403	438	454	445	441	393	410	5,206	433.8
令和2年度	407	411	420	429	494	448	449	420	446	403	412	432	5,171	430.9
令和元年度	409	419	429	422	422	424	442	423	456	429	403	419	5,097	424.8

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度	14.57	15.00	14.40	14.74	13.90	13.43	14.13	15.13	14.35	14.23	14.04	13.23	14.3
令和2年度	13.56	13.26	14.00	13.84	15.94	14.93	14.48	14.00	14.39	13.00	14.71	13.94	14.2
令和元年度	13.63	13.51	14.30	13.61	13.61	14.13	14.25	14.10	14.70	13.83	13.89	13.51	13.9

③ 平均利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度	9.10	10.11	9.00	8.46	8.62	8.57	9.32	8.73	8.40	8.65	9.14	8.91	8.9
令和2年度	8.48	8.74	8.24	8.25	9.69	9.33	8.47	7.92	9.29	10.07	9.36	9.81	9.0
令和元年度	8.01	8.55	7.52	8.27	8.44	7.57	8.33	8.13	8.94	9.12	8.76	8.72	8.4

④ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
要支援2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.33
要介護1	9	9	10	11	11	11	11	10	10	8	6	5	111	9.25
要介護2	10	10	12	13	11	11	13	16	13	13	11	14	147	12.25
要介護3	10	11	11	15	13	11	10	10	13	13	11	10	138	11.50
要介護4	10	8	7	8	8	8	8	11	12	10	8	11	109	9.08
要介護5	8	7	7	6	7	6	5	5	5	7	7	6	76	6.33
計	48	46	48	54	50	47	47	52	53	51	43	46	585	48.75
平均介護度	2.95	2.86	2.76	2.71	2.78	2.72	2.63	2.71	2.79	2.90	2.97	2.97	2.81	

(2) 地域別利用状況

	六日市	十日町	阪之上	宮内	四郎丸	富曽亀	豊田	千手	川崎	栖吉	神田	その他	市外	計
令和3年度	20	12	1	24	2	2	3	3	0	0	0	13	0	80
令和2年度	19	20	1	22	1	2	0	4	0	0	1	15	0	85
令和元年度	26	19	2	33	0	2	0	3	2	1	1	24	0	113

2 重点施策

(1) 介護報酬改定に対応した新たな加算の算定

サービス提供体制強化加算については、令和3年4月以降介護職員全員が介護福祉士を有しており、速やかに上位区分へ移行できた。また、個別機能訓練加算は、体制作りと利用ニーズ調査を並行して行い、令和3年11月から計8名延べ27回の算定実績となった。次年度は年間実算定者数10名以上を目標とし、他事業所とも連携を図りながら積極的に算定していく。

(2) 平均稼働率向上のための取り組み

平均稼働率は目標値113%に対して129.6%と目標を達成できた。特養の退所や入院による空床を積極的に活用し、空床＝短期入所利用が意識付けられている結果が数字として表れた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式が変わって以降、実利用者数は減少傾向にあり、一利用者の動向が稼働に大きく影響する恐れがある。安定した稼働を維持するため月平均50.5名の実利用者数を目標として利用調整を図っていく。

(3) 認知症ケアの推進

認知症の症状がある利用者の割合が増加する中で、職員の認知症への理解を深めるために、認知症介護実践者研修修了者が中心となって研修を企画・実施した。認知症状の進行や変化を見逃さないためにも、PDCAサイクルを意識しながら今後も認知症ケアに取り組んでいく。

(4) 定期行事の充実

昼食やおやつを作る調理レクを中心に、新型コロナウイルス感染症の流行拡大期は調理レクに代わって創作レクを行い、モノを完成させる達成感から満足感・充実感を得ることで心身の活性化への働きかけができた。また、活動を通して利用者同士の交流の増加や機能維持・向上を意識した内容を計画するように工夫もできた。今後も月2回程度の行事は継続し、より多くの利用者に参加してもらえるよう週数や曜日ができるだけ重複しないよう配慮していく。

定期的な行事等が充実している反面、日々の余暇活動をどのように取り組んでいくといった課題が挙げられる。ミーティング等で協議しながら余暇活動や日課への取り組みを行っていく。

(5) 業務改善とICT活用の推進

ICTを積極的に導入・活用するために情報収集を行ってきたが、新たな機器の導入には至らなかった。しかし、認知症の進行により危険認知能力が低下している方や所在確認が必要な方が増えており、センサーマットを使用するケースもあるため、利用者の状態像の変化を予測し、機器の導入等は随時検討していく必要がある。

長岡市のワーキンググループでもショートステイの荷物チェックを行う機器のプロトタイプが製作され、実用に向けて開発が進んでいる。機器の開発や実用化に向けて行政機関との連携を図り、モデル事業等にも積極的に参画していく。

(6) 定期ミーティングの開催

毎月多職種が参加するミーティングを開催し、利用者個々のケア方法の見直しや業

務についての意見交換を行った。また、協議内容をフィードバックし、フロア職員が共通認識を持って統一したケアを行えるように努めた。

(7) 感染症対策の徹底

新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るう中、標準予防策の徹底と法人の行動指針を遵守し、施設内での感染は確認されなかった。また、嘱託医からの助言により、ユニット間のフィルムシート設置や食席のパーテーション設置等の対策も講じて感染症対策の徹底を図った。

利用者及びその家族についても利用前の検温等の健康管理に努めていただき、県外への往来や県外在住者との接触等があった場合には利用を控えていただく等の協力を得ながら運営できた。また、利用中も体調の変化を見逃さないように1日3回の検温を継続して実施している。今後もコロナ禍が続くことが予想されるため、引き続き理解と協力を得ながら健康管理及び感染症対策を実施していく。

<事故報告状況>

発生状況 発生場所	フロア	居室	トイレ	浴室	計
転倒・転落	9	13	4	0	26
誤薬等	0	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0
傷、表皮剥離	0	3	0	0	3
その他	1	1	0	2	4
計	10	17	4	2	33

利用者のADLや認知機能の低下に伴い、転倒・転落事故が全報告の8割近くをしめた。また、職員の目の届きにくい居室内での事故が多く、センサーマット等の機器を用いて行動確認や受傷予防を行うケースも増えてきている。利用者の状態変化を職員間だけでなく、家族や担当介護支援専門員と共有し、必要に応じて介護機器の活用や適切な機器の導入を検討しながら事故防止・受傷予防に努めていく。

③ デイサービスセンター岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和3年度	734	732	711	725	718	713	679	677	711	609	504	689	8,202	683.50
令和2年度	731	765	702	710	714	697	752	739	741	715	669	745	8,680	723.33
令和元年度	718	764	729	766	762	700	735	722	728	715	691	761	8,791	732.58

※ 新型コロナウイルスの影響で1月29日～2月2日まで利用休止した。

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度	24.50	23.60	23.70	23.40	23.20	23.80	21.90	22.60	22.90	19.60	18.00	22.20	22.45
令和2年度	24.40	24.70	23.40	22.90	23.00	23.20	24.30	24.60	23.90	23.10	23.90	24.00	23.78
令和元年度	23.90	24.60	24.30	24.70	24.60	23.30	23.70	24.10	23.50	23.10	23.80	24.50	24.00

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	3	31	2.58
要支援2	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	42	3.50
要介護1	17	17	15	15	14	14	15	16	18	17	14	11	183	15.25
要介護2	33	33	35	32	33	31	32	32	28	31	30	30	380	31.66
要介護3	16	15	15	16	18	17	17	16	18	17	16	19	200	16.66
要介護4	8	8	7	7	5	7	7	7	7	5	6	6	80	6.66
要介護5	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3	2	3	32	2.66
計	83	82	81	79	80	79	79	79	79	79	73	75	948	79.00
平均介護度	2.31	2.30	2.30	2.32	2.31	2.36	2.30	2.27	2.27	2.26	2.29	2.42	2.31	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和3年度	1,174	1,157	1,278	1,271	1,111	1,175	1,036	8,202	1,171.71
令和2年度	1,231	1,247	1,343	1,262	1,217	1,188	1,192	8,680	1,240.00
令和元年度	1,290	1,312	1,291	1,306	1,230	1,215	1,147	8,791	1,255.85

地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	富曽亀	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	その他	市外	計
令和3年度	49	19	17	0	2	0	0	0	0	0	0	15	0	102
令和2年度	55	22	14	0	3	0	0	2	0	0	0	22	0	118
令和元年度	48	23	11	0	1	0	0	0	0	0	3	34	0	120

2 重点施策

(1) 安定した事業経営への取り組みと利用者の確保

定期的に居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへ営業活動・情報交換を行い、新規利用者の獲得に努めた結果、平均利用者数22.5名、平均実利用者数7.9名、月の平均利用者数683.5名、年間新規利用者数は22名であった。特に1月、2月は新型コロナウイルスの影響で大きく利用者数が減少した。次年度も更なる営業活動に努めるとともにサービスの質の向上を図り、新規利用者の獲得を目指す。

(2) 介護報酬改定における新たな加算の算定

利用者の自立支援、重度化防止への取り組みを行い、新たに科学的介護推進体制加算を算定した。個別機能訓練加算（Ⅰ）の算定者は、延べ4,991名と昨年度よりも803名増加した。利用者の自立支援、心身機能の維持向上を目的として利用者一人ひとりに個別計画を立案し、機能訓練を実施した。ADL維持等加算は、毎月ADLを評価する指標を用いてADL値を測定し準備を進め、ADL維持等加算（Ⅱ）を算定できた。

今後も利用者が可能な限り在宅での生活が継続できるよう機能訓練を実施するとともに、安定した事業経営に向け加算の算定を行っていく。

(3) サービスの質の向上

利用者にとってデイサービスが交流の場としての居心地の良さ、やすらぎを感じられるよう脳トレ、創作活動のプログラムを豊富に提供したり、クラブ活動の内容を推進したりと職員一人ひとりがサービスの質の向上に努めた。

新型コロナウイルス感染症の流行により外部研修への参加機会が減ったが、代替としてオンライン研修に参加した。また、動画視聴型コンテンツにより研修動画を視聴し、資質の向上を図った。

(4) 働きやすい職場作り

管理者を中心として職員との意見交換の機会を設け、業務上の問題点や意見の聞き取り、悩み相談にも応じた。また、お互いを認め合い、信頼関係を築けるよう職員同士のコミュニケーションを大切にすることで、働きやすい職場作りに取り組んだ。

ミーティング等で業務上の課題や問題点を話し合い、改善に努めるとともに役割分担を明確にして業務の効率化を図った。また、業務内容の見直しや効率化を図ることで業務時間内でケアプラン作成や行事の話し合い等の時間を設け、時間外労働の削減に努めるとともに円滑な有給休暇の取得に繋がった。

(5) 安全対策の徹底

少しでも危険と感じたらヒヤリハット報告を行い、対策を講じることで事故を未然に防げた。事故発生時には原因を多角的に分析し再発防止に努めた。

3 事故報告

発生状況 \ 発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	3	0	0	0	1	4
誤嚥・窒息・異食	0	0	0	0	0	0
薬関係	2	0	0	0	0	2
傷・表皮剥離・怪我	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	3	5
計	7	0	0	0	4	11

事故発生時に事故ミーティングを行い、要因を分析し事故防止対応策を職員間で共有した。また、毎月のミーティングで事故防止対応策の評価、再検討を行い、再発防止に努めた。

4 ヒヤリハット

発生状況 \ 発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
移動・起居動作・移乗	36	15	2	4	6	63
杖・歩行器の不使用	10	0	1	0	0	11
バイタル測定	0	1	0	0	0	1
食事・水分・服薬	10	0	0	0	0	10
送迎	0	0	0	0	7	7
その他	18	1	0	0	10	29
計	74	17	3	4	23	121

転倒予防に関する事例を含め多くのヒヤリハットが報告された。報告された事例を職員全員で共有し、事故発生を未然に防ぐ取り組みに役立てた。

5 行事

月	日	行事名	内容
4月	12・13	お花見	施設敷地内の桜を鑑賞した。
5月	13・14	ケーキ作り	チョコレートケーキ作りを行った。
6月	16・26	クレープ作り	クレープ作りを行った。
7月	21・22・26・27	かき氷作り	かき氷作りを行った。
8月	20	夏祭り	模擬店では、チキンナゲット、綿あめ、アイスクャンディー等を提供し、縁日ではスタンプラリー、千本引き、金魚すくい、的あて等で楽しんだ。
9月	7・12	おやつ作り	スイートポテト作りを行った。
	20～26	敬老会	喜寿、米寿、白寿等の利用者を発表し、昼食に祝い膳を提供した。
10月	18・19	ホットケーキ作り	利用者希望にてホットケーキ作りを行った。
	27・28	昼食テイクアウト	利用者希望にてお寿司、お弁当等を提供した。
11月	3・4	文化祭(作品作り)	作品鑑賞を行い、松ぼっくりのクリスマスツリーを制作した。
	1・9	ブレスレット作り	ブレスレット作りを行った。
12月	12～18	忘年会	寄せ鍋、すき焼き、ちらし寿司、いなり寿司を提供した。 12/12～14、ビンゴゲームを楽しんだ。
	24・25	お楽しみデザート	デザートバイキングを行った。
1月	9～15	新年会	新年の祝い膳を提供し、福笑い、だるま落とし、かるた等を楽しんだ。
2月	2・3	節分会	鬼に扮した職員に豆まきをして楽しんだ。
	21・22	昼食テイクアウト	利用者希望にてお寿司、松花堂弁当等を提供した。
3月	10・11	フォトフレーム作り	フォトフレーム作りを行った。
	18・19	昼食テイクアウト	利用者希望にてお寿司、特選弁当、天津飯等を提供した。

新型コロナウイルス感染拡大により、外出行事については中止した。代わりに調理レク、創作レク、昼食テイクアウト等を行った。

④ グループホームこうなん

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	4	0.33
退居	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
	女	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0.25
月末入居者数		18	18	17	18	17	18	17	18	17	17	18	18	211	17.58
短期利用		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0.25
通所利用		1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	18	1.50

※ 通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 68回

※ 短期利用サービス(ショートステイ) 利用日数合計 17日

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R4.3.31	4	6	4	3	1	18	2.50
%	22.2%	33.3%	22.2%	16.7%	5.6%		
R3.3.31	6	5	4	2	1	18	2.27
R2.3.31	6	4	4	4	0	18	2.33

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R4.3.31	0	0	0	1	2	6	9	18	89.0 歳
%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	33.3%	50.0%		
R3.3.31	0	0	0	2	4	6	6	18	86.9 歳
R2.3.31	0	0	0	2	4	5	7	18	87.5 歳

2 重点施策

(1) 安定した事業経営への取り組み

空室期間の短縮を図るため、待機者の情報をグループホームせったやと共有することで状態確認を行い、入居率98.4%を確保できた。また、空室期間をショートステイとして活用し、収入増加に繋げた。共用型デイサービスの利用回数は昨年度より増加したが、11件と微増であり目標の稼働率には至らなかった。今後も居宅介護支援事業所等への営業を積極的に行い、利用者の獲得を進めていく。

新たに口腔衛生管理体制加算及び栄養管理体制加算の算定を行い、収入増加に繋がった。今後も新たな加算の算定を検討し、安定した事業経営に取り組んでいく。

(2) 利用者のニーズに合わせた個別支援の充実

利用者個々の思いや願いを把握してケアプランを作成し、余暇活動や行事への参加を促すことで、楽しみのある生活や達成感を味わえるような支援を提供できた。また、外部評価機関による第三者評価を受け、利用者の急変時の対応等の新しい課題を見つけられた。研修やシミュレーション訓練を実施し、対応力を身に付けるよう取り組んでいく。

(3) 地域との繋がりの強化

散髪や歯科診療等の社会資源の活用を通じての交流は図ることができたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域住民との交流は限定的であった。今後は新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、可能な範囲での地域住民との交流の機会を模索していく。また、運営推進会議は2か月ごとに書面開催にて実施し、地域住民代表等から意見や要望を伺った。

(4) 家族との連携

家族参加行事は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたが、オンライン面会により交流を図る機会を提供できた。また、家族の思いや意向を直接確認することでケアプランの作成に役立てた。

毎月おたよりと行事写真等を家族に郵送し、利用者の近況報告を行った。今後も家族と情報共有を行いながら利用者が安心して過ごせるよう連携を図っていく。

(5) 職員の資質向上

オンラインによる外部研修への参加や動画視聴型のオンライン研修を個別に視聴し、職員の資質向上を図った。また、職員ミーティングの際には利用者への支援方法について話し合い、対話的に学ぶことができた。

全職員が共用型デイサービスの業務に携われるよう業務マニュアルを作成し、統一した対応に努めた。

(6) 働きやすい職場作り

職員同士のコミュニケーションを大切にすることで、信頼関係を築き風通しの良い職場環境となるよう取り組んだ。

業務日誌の作成やケア記録は、タブレット端末の導入により業務の効率化や時間外労働の削減等に繋がり、職員の負担軽減を図れた。また、5 S活動を通してスタッフルームの環境を整え、働きやすい職場を作ることができた。

(7) 非常災害時における対応と利用者の安全確保

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域住民による自主防災会の参加はなかったが、火災や土砂・水害を想定した実働訓練を実施することで、避難誘導の手順や利用者の避難方法を確認できた。今後も災害時の連絡方法や避難誘導等の対応を常日頃から心掛け安全の確保に努めていく。

3 事故報告・ヒヤリハット

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	1	0	2	1	4	4	7	5	2	2	2	4	34
ヒヤリハット	6	11	2	10	17	6	9	10	8	7	12	6	104
計	7	11	4	11	21	10	16	15	10	9	14	10	138

ヒヤリハット報告は、皮膚トラブルや転倒リスクに関する事例が多く報告された。
 今後も職員ミーティング等で対策について話し合い、事故の発生を未然に防ぐ取り組みに役立てる。

(2) 内容別事故報告件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落・尻もち	0	0	1	0	1	3	5	4	0	2	1	3	20
受傷(切り傷・裂傷・ 剥離・皮下出血)	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4
服薬	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	5
行方不明(無断外出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	5
計	1	0	2	1	4	4	7	5	2	2	2	4	34

昨年度と同様に転倒・転落・尻もちの事故報告件数が最も多いため、事故の防止を目指してヒヤリハット報告の分析を行い、事故再発防止に努めていく。

⑤ 居宅介護支援事業所岡南

1 居宅サービス計画数(国保連請求分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和3年度	145	142	139	139	143	145	146	143	144	145	143	142	1,716	143.0
(新規契約件数)	3	1	6	6	5	7	5	7	6	6	3	7	62	5.2
令和2年度	145	147	145	141	141	146	150	149	144	143	141	137	1,729	144.1
令和元年度	137	145	142	143	148	139	140	141	135	137	141	138	1,686	140.5

2 介護予防支援・くらし元気委託料請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和3年度	32	34	31	31	32	33	35	37	38	37	39	41	420	35.00
令和2年度	33	33	32	33	33	32	31	34	32	32	32	33	390	32.50
令和元年度	24	25	22	22	22	21	25	27	28	30	29	33	308	25.67

3 長岡市・小千谷市認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和3年度	7	11	9	10	13	13	11	13	12	13	12	11	135	11.25
令和2年度	2	3	7	3	8	4	5	2	11	10	9	7	71	5.91
令和元年度	9	1	8	6	11	13	9	11	9	12	14	10	113	9.41

4 重点施策

(1) 安定的な事業経営への取り組み

居宅サービス計画数(国保連請求分)が1,716件で昨年度実績より13件減少したが、介護予防支援は30件増加した。コロナ禍で営業活動が制限される中でも積極的に営業を行い、また、地域包括支援センターや病院への働きかけにより介護予防支援の新規受け入れを積極的することで国保連請求分の減少を補うように努めた。今後も質の高いケアマネジメント実施のために特定事業所加算Ⅱを堅持する。さらに、営業活動を通じ、関係機関と良好な関係を維持しながら積極的に新規受け入れを行っていく。

(2) 提供する居宅介護支援サービスの質の向上と人材育成への取り組み

利用者や家族の要望に応え、質の高いケアマネジメントを行えるように外部研修や経験年数に応じた専門研修に参加した。また、視野を広げ様々な事例に対応できるように他法人が運営する居宅介護支援事業所や関係機関との情報交換、事例検討を行った。今後も各種研修や他法人が運営する居宅介護支援事業所の事例検討会に参加し、主任介護支援専門員の増員を図っていく。

(3) 地域社会との連携

利用者や家族に対して丁寧かつ迅速な対応に努め、信頼関係を深めることができた。

単身世帯や軽度の援助を必要とする高齢者が増加する中で、社会と繋がりを持ち、地域に根差した暮らしを継続するため、積極的に福祉ニーズの把握や情報収集を行い、地域に潜在している社会資源の発掘と活用を行っていく。

(4) 明るく働きやすい職場作り

事業所ミーティング、ケース検討会を通して、個々が抱える担当ケースで困難な事例や支援内容について意見交換や情報共有を行い、職員が一人で問題を抱え込まず、気軽に相談できる環境作りを行った。また、担当職員不在の場合も利用者や家族に支障が出ないように協力して業務にあたった。今後も、積極的に意見を言える風通しの良い雰囲気作り、やりがいを感じられる職場環境を構築していく。

⑥ ケアハウス岡南

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男									1		1		2	1.00
	女	1					2						1	4	1.33
退居	男					1						1		2	1.00
	女	1					1			1		1		4	1.00
月末入居者数		15	15	15	15	14	15	15	15	15	15	14	15	178	14.83

退居者6名のうち1名は療養型の施設に入所、2名は認知症の進行に伴いケアハウスの生活が難しくなり、退居となる。残る3名については、本人の希望もあり退居後は在宅にて生活を送っている。

(2) 介護度別入居者

介護度 基準日	自立	要支援		要介護				計
		1	2	1	2	3	4	
R4.3.31	3		2	4	3	3		15
%	20.0%	0.0%	13.3%	26.7%	20.0%	20.0%	0.0%	100%
R3.3.31	3		1	4	2	5		15
R2.3.31	2	0	2	2	4	5	0	15

平均介護度は低くなったが、要介護1～3の入居者が全体の6割を占めている。

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R4.3.31			2	2	1	6	4	15	84.9 歳
%	0.0%	0.0%	13.3%	13.3%	6.7%	40.0%	26.7%		
R3.3.31			3	1	2	5	4	15	86.1 歳
R2.3.31	0	0	3	0	2	3	7	15	85.9 歳

平均年齢は1.2歳下がり、80歳以上の入居者が全体の7割を占めている。

2 重点施策

(1) 入居者の生活の質(QOL)の向上

① 相談・助言

生活面や健康面の不安等の相談が増えたことから、今まで以上に入居者一人ひとりの生活状況、身体状況の把握に努め、助言を行った。必要に応じて家族・介護支援専

門員とともに対応をした。

② 環境・生活

入居者の高齢化に伴い身体状態が低下し、介護と医療が必要な方が増加している。可能な限り自立した生活が送れるよう本人や家族、介護支援専門員とともに生活面の配慮、環境整備を行った。

③ 入浴

入浴は毎日提供し、事故防止のため30分毎の巡回を実施した。また、感染症予防と清潔保持のため、塩素濃度の測定や浴室、脱衣室の清掃を徹底した。

④ 保健衛生・緊急・災害時対応

定期的な体重・血圧測定や健康相談を行い、入居者の状態把握に努めた。主治医による年1回の特定健診受診を勧め、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

緊急時は家族等と連絡を取り、主治医・医療機関の指示に従って対応した。連絡方法を明確にしておくことで迅速な対応が行えた。また、災害に備え、入居者が速やかに避難できるように日中・夜間想定避難訓練を行い、防災意識を高めた。

⑤ 介護予防対策

入居者にラジオ体操への参加を勧め、加齢に伴う身体機能低下の予防に努めた。また、健康教室を開催し病気や認知症予防に関する説明や健康増進の体操を行った。

興味の持てる行事や余暇・趣味活動への参加を促し、入居者間の親睦を図り、楽しみのある生活が送れるよう努めた。

⑥ 在宅福祉サービスの提供と情報交換

入居者の身体・精神状態に変化があった際は、入居者、家族等の意向を確認した上で、在宅福祉サービスの提供について主治医や担当介護支援専門員と情報交換を行い、適切なサービスの利用提供等、入居者が安心して生活が送れるように努めた。

(2) 入居者の確保、安定した事業運営への取り組み

今年度は、退去した人が入居者の40%を占めるなど身体機能の低下等によりケアハウスでの生活が困難となった方も多く、介護支援専門員や家族等と連携して次の受け入れ先を探すよう努めた。また、空室期間短縮の取り組みとして、新規入居者を確保するため、包括支援センターと居宅介護支援事業所を中心に営業活動を行った。問い合わせには丁寧に説明し、コロナ禍であるが希望者には見学対応をした。営業活動の継続が入居者確保に繋がるため、今後も力を入れていく。

(3) 職員の資質の向上

入居者の状況把握や対応の統一を図るため、連絡ノートの活用や回覧文書で情報の共有を徹底した。また、職員間で話し合いの場を設け、入居者の少しの変化でも気づけるよう医療・介護等の対応について意見交換、情報伝達を行った。

(4) 働きやすい職場作り

① 年次有給休暇の計画的な取得により、職員の生活の充実や気分転換に繋げることができた。

② 日々の業務の中で疑問に思ったことを職員間で話し合い、業務内容を見直す機会を作り、働きやすい環境作りに努めた。

3 事故報告

発生場所 事故内容	浴室	居室	ホール	屋外	その他	合計
転倒	0	0	0	0	0	0
転落	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	3	4
計	0	1	0	0	3	4

事故報告 4 件のうち、3 件は無断外出、1 件は入居者本人に起因する怪我となっている。

前年度との比較	事故の件数	事故者の人数
令和2年度	3 件	3 人

4 年間行事状況

月	日	行事名	行事内容
4	8	お花見	コロナ禍ではあったが、例年通りケアハウスの裏中庭で桜を鑑賞し、茶話会を行った。
6	21、22	上映会	昭和・平成の頃の懐かしい映像を鑑賞していただいた。
7	7	七夕	アイスや果物で作った夏らしいデザートを食べながら、季節を感じていただいた。
8	20	夏祭り会	縁日風の飾り付けをして、昼食会を行った。
9	20	敬老会	行事食を提供し、スライドショーを観ながら食事を楽しんでいただいた。
10	7、8	バスハイク	花テラスに出かけ、気分転換を図ることができた。
11	11	お茶会	施設で収穫したさつまいもを使ったお菓子を提供し、季節を感じていただいた。
12	21	忘年会	行事食・余興等を楽しみながら1年を振り返った。
1	12	新年会	祝い膳を提供。職員の余興を楽しみながら、新年を祝った。
2	24	節分祭	豆まきに見立てた玉入れゲームを行い、今年一年の無病息災を祈った。
3	3	ひな祭り	入居者の方から飾り付けをもらったケーキを食べながら、茶話会を行った。

新型コロナウイルス感染症予防のため、年間行事の中でバスハイク等の行事の回数を減らして実施した。6 月の上映会が好評であったため、入居者の希望もあり 6 月以降も随時上映会を開催した。また、室内でレクリエーションを実施し、入居者の気分転換を図る機会を作った。

5 趣味活動・余暇活動

回 数	曜 日 等	内 容	
週 1 回	金曜	移動スーパー	移動スーパー「とくし丸」来訪により安心してゆったりと買い物ができるようになった。
月 2 回	火曜	買い物	原信旭岡店で買い物をした。
	毎月1日	懇親会	入居者全員が参加し、入居者の意見・要望、職員・入居者間の連絡、ケアハウスの生活について話し合いを行った。
	月末	健康教室	認知症予防のための体操や健康に留意した教室を開催した。
	不定期	おやつ作り	季節を感じられるおやつを作り、茶話会を行った。
	月 末	身体測定	体重、血圧測定を行った。

健康教室では入居者に対し健康増進・認知症予防の講座や体操等を行った。歌声広場は新型コロナウイルス感染症予防のため、年間を通じて実施しなかった。

(2) せったやの郷

① デイサービスセンターせったや

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和3年度	563	595	599	599	585	592	636	628	640	554	514	550	7,055	587.91
令和2年度	568	600	575	562	521	564	640	574	574	554	568	598	6,898	574.83
令和元年度	612	598	582	637	617	590	577	554	541	544	545	568	6,965	580.41

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度	18.80	19.20	20.00	19.30	18.90	19.70	20.50	20.90	20.60	18.50	18.40	17.70	19.37
令和2年度	18.93	19.35	19.16	18.12	16.80	18.80	20.61	19.13	18.51	18.46	20.28	19.29	18.95
令和元年度	20.40	19.29	19.40	20.54	19.90	19.66	18.61	18.46	17.45	17.54	19.46	18.32	19.08

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	2	2	2	2	2	1					1	1	13	1.62
要支援2	6	6	6	6	5	4	4	5	5	4	5	5	61	5.08
要介護1	17	17	16	17	16	18	18	15	16	17	18	17	202	16.83
要介護2	15	14	16	14	13	15	15	18	17	16	14	16	183	15.25
要介護3	21	20	20	20	18	19	17	16	15	12	13	11	202	16.83
要介護4	5	7	7	7	7	7	11	9	9	8	8	6	91	7.58
要介護5	3	4	3	2	2	1	1	2	1	1	1	1	22	1.83
計	69	70	70	68	63	65	66	65	63	58	60	57	774	64.50
平均介護度	2.37	2.46	2.43	2.38	2.39	2.30	2.38	2.41	2.34	2.25	2.25	2.17	2.35	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和3年度	970	1,075	1,103	1,039	1,029	974	865	7,055	1,007.85
令和2年度	1,014	963	1,019	1,001	997	1,022	882	6,898	985.42
令和元年度	1,080	976	1,026	1,077	1,000	873	933	6,965	995.00

(3) 地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	下々条	その他	市外	計
令和3年度	3	13	58	1	10	9	0	1	1	0	0	0	0	96
令和2年度	0	15	53	1	8	9	0	1	1	0	0	11	0	99
令和元年度	7	16	49	3	9	7	0	4	4	0	0	1	0	100

2 重点施策

(1) 安定した事業経営への取り組み

目標数値として平均利用者数21名／日、月間実利用者数80名、月延べ利用者数650名、年間新規利用者数30名と設定し取り組んだ。実績では平均利用者数19.4名／日、月延べ利用者数587.9名／月、年間新規利用者数22名であり、目標達成には至らなかった。

各介護支援事業所の感染症対策に伴い、直接顔を合わせての営業や訪問制限等がある中で、空き状況等を電話で伝える営業の他、市内の感染状況により各事業所ポストへのパンフレット配布等、コロナ流行期における新たな営業活動の形が求められた1年であった。次年度もできる限りの営業活動を継続していき、新規利用者の獲得を目指す。また、実利用者数を増やすことと新たな加算の算定により、より安定した事業経営に向けて取り組んでいく。

(2) 新型コロナウイルス感染予防

看護職員を中心に1日2回の体温測定を行い、利用者の健康管理、状態把握に努めた。また、利用者や家族へ感染予防を呼びかける案内文書を配布することで、日々の体調変化や利用者家族の県外外出、帰省等の情報をすぐに入手できるようにした。担当介護支援専門員とも情報共有、連携を図りつつ、日々の標準予防措置策を徹底し、事業所内での感染発生を防げた。引き続き感染症対策を施しながら緊急事態宣言等が発令した場合に備えて、利用者のデイサービスでの新しい過ごし方、楽しみ方を検討していく。

(3) 利用者個人の社会性、心身機能の維持

コロナ禍の影響で利用者も外出等が制限される中で、自宅での孤立や社会との繋がりが、身体機能、認知機能の低下等、利用者や家族のニーズを把握することで、個別機能訓練等を行いながら、個々の状態に合わせたサービス提供に取り組んだ。その他、行事や余暇活動（体操、脳トレ、創作活動）を通じて利用者同士または職員と交流、気分転換を図ることで介護予防・自立支援・重度化防止に努めた。

(4) 職員が働きやすい職場作り

各職種の業務内容を見直すことで、サービスの質は変えずに効率化や短縮化を図り、時間外労働を削減できた。今後も継続して業務の見直しや改善を行っていく。また、今年度の有給取得率は1人平均9.3日だった。今後も時間有給も含めて有給が取得しやすい、働きやすい職場を目指していく。

(5) 職員の人材育成

新型コロナウイルス感染症の影響のため、外部研修への参加はできなかったが、法人内研修を中心に動画視聴による研修に参加する等、職員の資質、知識の向上に繋げることができた。また、職員ミーティング内でも経営に関する研修を実施した。

3 事故報告

発生場所 事故内容	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	3	1		1		5
誤薬等					1	1
異食	1					1
傷、表皮剥離	1	2				3
その他	1				1	2
計	6	3	0	1	2	12

4 ヒヤリハット

発生場所 発生状況	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
入浴・検温						0
移動	12	7	10	2		31
食事・水分・服薬	17					17
送迎					10	10
その他	4	4	1			9
計	33	11	11	2	10	67

5 行事

月	行事名	行事内容
4月	お花見	施設周辺を散歩しながら桜を観賞する。
5月	畑作り・温泉入浴	庭のスペースに畑・花壇を作った。また、施設での温泉入浴を行った。
6月	移動販売	移動販売(クレープ)にて、皆さんの好きなクレープを召し上がっていただく
7月	七夕・おやつ作り	季節に合わせ、ところてんと寒天スイーツを作り提供した。
8月	夏祭り	せったや祭りの代替えとしてDSで夏祭り気分を味わっていただく。
9月	敬老会	昼食はちらし寿司と握り寿司を提供。当日の利用者には記念品とメッセージカードをお渡しする。
10月	おやつ作り	当日に芋堀をして、午後からさつまいものおやつを作り、召し上がっていただく。
11月	文化祭・温泉入浴	施設内に作品を展示し鑑賞していただく。また温泉入浴を実施した。
12月	せったや忘年会	忘年会祝い膳(いなり寿司・寄せ鍋)を提供する。
1月	新年会	祝い膳を提供。午後からは花札・かるた・すごろく等昔遊んだゲームを実施する。
2月	節分会	職員による鬼踊りを鑑賞していただき、豆まきを行う。
3月	ひな祭り	午後から甘酒・ひなあられを提供する。
	年間の創作活動	花火の貼り絵を作る。(6月～8月) 干支(寅)の壁面制作(1月～3月)

② グループホームせったや

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
月末入居者数		9	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107	8.91
短期利用		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.25
通所利用		0	0	7	8	9	12	13	13	12	15	7	0	96	8.00

※通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 96回

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R4.3.31	3	4	1	0	1	9	2.11
%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%		
R3.3.31	3	4	1	1	0	9	2.00
R2.3.31	2	5	2	0	0	9	2.00

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R4.3.31	0	0	1	0	2	5	1	9	83.6 歳
%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	55.6%	11.1%		
R3.3.31	0	0	1	1	1	6	0	9	80.7 歳
R2.3.31	0	0	1	3	3	2	0	9	86.6 歳

2 重点施策

(1) 利用者からの要望に対する支援

コロナ禍による制限が長期に渡り続いており、利用者からは外出の希望が多く聞かれた。感染状況が落ち着いている時は散歩等を行い、気分転換を図った。雑誌購読等利用者個々の希望は職員が対応し、支援できた。

(2) 安定した収入確保への取り組み

入退居が1名ずつと入居率99%以上の安定した年度であった。その空室期間に、共用型デイサービスの利用者1名を短期利用のサービスに繋げて、空室期間の利用に努めた。共用型デイサービスについては、今後営業の機会を設けて登録者数を増やし、継続的な利用に繋げていく。また、新たな加算として管理栄養士、訪問歯科医院と連携し、栄養管理体制加算、口腔衛生管理体制加算と2つの加算を算定できた。

(3) 地域との結びつきの強化

昨年度と同様に、せったやふれあい祭りと地域の小中学校訪問等の交流はコロナ禍のため自粛としたが、長岡市の専門学校の実習生を受け入れることで、地域との結びつきを図った。

(4) 家族との交流、結びつきの強化

家族参加行事である母の日と敬老会は、コロナ禍のため家族は招かずに、メッセージカードによる間接的な参加を依頼した。面会も玄関口でのガラス越しで行い、電話連絡やお便りを通じて利用者の日常をこまめに伝えて情報共有を図った。家族による受診対応の利用者には、受診を通じて交流を図っていただけた。

(5) 職員の能力向上と業務の適正化

各職員に担当業務を割り当て、業務量に偏りが無いように適正化を図った。産休や異動で職員の入れ替わりがあったが、個々に責任を持って業務を遂行できた。

(6) 防災及び緊急時対応の強化

防災訓練は日中と夜間に火災があった想定で実施した。コロナ禍のため地域の防災関係者の方々と交えた訓練は実施できなかったが、消防署員の方に立会協力を求めて指導をいただいた。その他、水害想定避難訓練をデイサービスせったやと共同で実施し、職員の動きを確認できた。

3 事故・ヒヤリハット報告

(1) 発生件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分													
事故報告	1	1	0	1	4	1	2	0	0	1	0	2	13
ヒヤリハット	2	1	1	3	1	1	0	2	3	0	3	2	19
計	3	2	1	4	5	2	2	2	3	1	3	4	32

(2) 事故報告発生内容

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分													
転倒	1	1	0	1	2	1	2	0	0	0	0	1	9
行方不明(無断外出含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
計	1	1	0	1	4	1	2	0	0	1	0	2	13

事故報告は居室内での転倒が多かった。職員の目の届かないところであるので、こまめに様子を伺う等の配慮を行い、手摺に緩衝材を巻いて傷にならないような環境整備を行った。今後、歩行能力が低下してくる利用者が増加すると予想されるため、こまめな見守りと環境整備を継続する。

(3) 看護室

1 重点施策

(1) 看護の資質向上

業務改善として、不明確であった入所者の爪切り体制の整備を図った。爪切り管理表を作成し、漏れと確認を行うことが定期的な爪切りの実施に繋がり、看護師の習慣付けになった。

新型コロナウイルス感染症対策として、医師の回診体制の見直しを行った。一日で全フロアの利用者を対象とするのではなく、回診日ごとにグループ分けを行い、医師の動線を減らすことで感染リスクの軽減を図った。また、口頭だけでなく写真等画像を用いて詳細な状況報告を行い、医師が診察する際の情報量を増やし、円滑な回診を進めることができた。今後も感染状況を見ながら回診方法の検討をしていく。

異動や採用に伴う職員への指導体制の整備ができていなかったため、円滑な人材育成が図れるよう、プリセプター制度の体制構築に着手した。プリセプターが付くことでバックアップ体制が強化され、円滑な業務把握が可能となった。人材育成に繋がるため、次年度も引き続き体制の整備に努めていく。また、指導の際にも必要な看護手順書の作成がなされていないため、指導内容の統一ができず、看護技術・教育が不十分であった。次年度の課題として看護技術の手順・評価票を作成し、看護師が統一した安全な看護を提供できるように検討していく。

(2) 利用者の健康管理

入所者の健康状態の把握は、年に一度の健康診断や体調変化時の検査、医師及び他職種と日々の状態について情報を共有することで円滑に行えた。そのため、状態変化を早期発見でき、状態に応じての対応が素早くできるようになった。新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスに対しては、発熱時に医師と連携して積極的に抗原検査とインフルエンザ検査の実施を行うことで早期発見に努めた。罹患者を出さずに一年間が経過したことは評価できる。

新型コロナウイルスの流行状況に応じて、面会の制限や緩和を繰り返す一年であった。やむを得ない制限の中でも、看取り期の入所者に対して、嘱託医の見解を踏まえながら、感染対策を徹底し面会の機会を設けたことは、家族の想いに寄り添う対応の一つとなった。今後も感染状況を留意しなくてはならないが、看取り期以外の家族にも対面での面会ができるように対応を整えていく。

フェニックスネットワークは入力する情報量を増やし、救急搬送時に医療機関とスムーズに連携がとれる体制作りはできた。しかし、実際の活用までには至っていないため、チームで共通認識が持てるよう、活用のルールを明確にしていく必要がある。

第3 苦情受付状況

1 事業所別苦情受付件数

事業所名		件数
本部		0
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷	0
	ショートステイ岡南	4
	デイサービスセンター岡南	0
	グループホームこうなん	0
	居宅介護支援事業所岡南	0
	ケアハウス岡南	1
	小計	5
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	0
	グループホームせったや	0
	小計	0
合計		5

2 苦情申出人の要望（複数回答有）

要望	件数
改めてほしい	3
回答がほしい	1
話を聞いてほしい	3
調査してほしい	1
その他（注意してほしい）	0
計	8

3 苦情申出人より第三者委員への報告

報告	件数
必要あり	0
必要なし	5
計	5

4 苦情内容と発生原因

苦情内容	発生原因
施設の清掃について	清掃の不行き届き
職員の態度について	職員の配慮不足
事故後の対応について	職員の確認・配慮不足

5 今後に向けて

苦情の発生原因は、清掃不足、職員の認識・配慮不足等が挙げられる。苦情の申出があったときは、事実関係を確認した上で説明・謝罪等を行い、迅速な対応に努める。

苦情再発防止のため、管理監督者が職員への指導・教育を徹底するとともに、研修に積極的に参加し、接遇マナーや技術の向上を図る。また、各事業所で実施しているミーティング等で事例や予防策についての情報共有を徹底し、苦情ゼロを目指す。

第4 研修の状況

1 階層別研修

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
4月15日		令和3年度第1回事業者支援セミナー 「小濱道博介護経営セミナー」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
5月12日		高齢者施設におけるビジネスマナー向上研修	(公社)全国老人福祉施設協議会	Web研修	3	デイ岡南、GHこうなん
6月1日	6月24日	介護施設における安全対策担当者養成研修	(公社)全国老人福祉施設協議会	Web研修	1	特養
7月2日		安全対策体制加算対応ーリスクマネジメントWeb研修会	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	特養
9月4日		介護プロフェッショナルキャリア段位制度 令和3年度 アセッサー講習	(一社)シルバーサービス振興会	Web研修	2	特養
10月26日		令和3年度「人材育成・定着セミナー」	(社福)新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター	Web研修	1	法人本部
10月29日	11月30日	介護施設における安全対策担当者養成研修	(公社)全国老人福祉施設協議会	Web研修	1	法人本部
11月11日		令和3年度総務委員会企画研修	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	2	特養
11月30日		令和3年度長岡市地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所合同研修会	長岡市福祉保健部介護保険課	Web研修	3	居宅、GHこうなん、
2月25日		令和3年度第2回長岡市地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所合同管理者研修会	長岡市福祉保健部介護保険課	Web研修	3	GHこうなん、居宅、GH せったや
3月7日		令和3年度新潟県経営協セミナー WEB!	新潟県社会福祉法人経営者協議会	Web研修	1	ケアハウス
小計		11			19	

2 職種別専門研修

(1) 看護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
6月24日		令和3年度短期専門コース 第2回 実働実践 感染対策～そこまでは？どこまでやる？～	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
12月21日		看取りケア研修	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
小計		2			2	

(2) 生活相談員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
5月26日		令和3年度新潟県高齢者虐待防止研修	新潟県 (公社)新潟県社会福祉士会	Web研修	1	ケア
11月8日		令和3年度企画研修 第5回研修会 「困難事例解決の手がかり」	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	特養
11月26日		対人援助職のためのファシリテーション研修	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
12月6日		相談面接技術研修(応用コース) ～相談援助職の記録の書き方～	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	2	特養、デイ岡南
1月26日		令和3年度LIFE(科学的介護システム)研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	5	特養、デイ岡南、GHこうなん
小計		5			10	

(3) 機能訓練指導員・介護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
5月20日		令和3年度第1回企画研修会	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	2	特養
6月2日		令和3年度第2回企画研修会	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	2	特養

8月9日		介護職のためのアンガーマネジメント研修 ～怒りとうまく付き合うコツ～	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	2	特養、デイ岡南
8月30日		21世紀部会 令和3年度研修会 ～介護機器活用先端施設の取り組み～	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	3	特養
9月2日	11月3日	令和3年度新潟県新潟県認知症介護実践リーダー研修	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課	Web研修	1	特養
9月3日		気づく力研修～人が育つ・職場が変わる気づき力～	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	デイ岡南
9月8日		第25回新潟県老人福祉施設研究大会「未来に向けた次世代型介護の創造～新たな介護が未来を変える～」	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	特養
10月8日		介護記録の書き方研修～ケアに役立つ記録の書き方と活用方法～	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	2	特養
10月11日		気づく力研修～人が育つ・職場が変わる気づき力～	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	デイ岡南
10月26日		モチベーションアップ研修	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	3	特養、デイ岡南
10月27日		伝える力研修～福祉職員に求められるコミュニケーション力～	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	3	特養、デイ岡南、GHこうなん
12月21日		看取りケア研修	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
1月22日		令和3年度高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会	新潟県精神保健福祉センター	Web研修	1	デイ岡南
2月1日		令和3年度新潟県認知症介護基礎研修	社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター	Web研修	4	特養、ケアハウス、 デイ岡南、デイせったや
小計		14			27	

(4) 介護支援専門員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
6月1日	6月30日	令和3年度第1回在宅医療・介護連携に向けた多職種勉強会 認知症の人の権利擁護	長岡市福祉保健部長寿はつらつ課	Web研修	5	居宅
7月14日		令和3年度成年後見制度法人後見推進研修会	新潟県 (公社)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	居宅
9月21日	11月1日	令和3年度新潟県介護支援専門員「更新研修・専門研修」(専門研修課程Ⅱ)	(一社)新潟県K死後支援専門員協会	ハイク長岡	1	居宅
10月13日	11月9日	令和3年度新潟県介護支援専門員「更新研修・専門研修」(専門研修課程Ⅱ)	(一社)新潟県介護支援専門員協会	新潟ユニゾンプラザ	1	居宅
10月14日		令和3年度第2回施設介護支援専門員研修 LIFEに期待すること！～LIFEの実際と活用について考える～	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	2	特養
11月8日		令和3年度企画研修 第5回研修会 「困難事例解決の手がかり」	(公社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	居宅
11月13日		令和3年度 第1回定期研修会 ～ケアマネジメントプロセスの再確認～	長岡地域介護支援専門員協議会	ハイク長岡	6	特養、居宅
11月25日		令和3年度第2回在宅医療・介護連携に向けた多職種勉強会	長岡市医療・介護連携推進センター 長岡市長寿はつらつ課	長岡リリックホール	3	居宅
11月26日		対人援助職のためのファシリテーション研修	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養、居宅
12月21日		看取りケア研修	(社福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
1月26日		令和3年度LIFE(科学的介護システム)研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	2	居宅
小計		11			24	

(5) 事務員 ・ 栄養士

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
4月1日		第2回厚生労働省の担当官が介護報酬改定(栄養関連)をわかりやすく解説!管理栄養士・栄養士の現場はこう変わる(通所・居宅編)	(公社)日本栄養士会	Web研修	2	法人本部、ケアハウス
9月28日		SDGs勉強会 第1回:入門編 ～SDGsと企業経営を考える～	長岡商工会議所	Web研修	1	法人本部
10月1日	10月31日	令和3年度介護報酬改定関連 「各種加算のとり方等」研修会	(公社)日本栄養士会	Web研修	2	法人本部、ケアハウス
小計		3			5	
職種別専門研修 合計		35			68	
総合計		46			87	